

GW 気仙沼市大島でのボランティア活動に行ってきました！

昨年度夏季のボランティア活動に引き続き、浅野弘毅氏（本学 1975 年法学部卒業、中央大学南甲倶楽部会員（※）、浄土真宗・本願寺派 宗教法人信行寺住職）の主催により、4 月 30 日～5 月 3 日の期間で「宮城県気仙沼市大島地区」でのボランティア活動を実施致しました。

（※）中央大学南甲倶楽部とは、経済界で活躍をしている本学卒業生の親睦団体として会員相互の交流を図るとともに、母校中央大学の興隆と発展を希求する学内有数の団体です。

* 活動概要

活動期間	4 月 30 日（月）～5 月 3 日（木）
活動地	宮城県気仙沼市大島
活動内容	(1)「椿山」の清掃活動 (2)海岸でのガレキの撤去作業
参加者	学生20名（男子学生11名、女子学生9名） 引率職員1名
主催	宗教法人 信行寺
協力	中央大学 学生部

* 行程

- (1 日目) 中央大学集合 (7:30) → 気仙沼フェリー → 大島
(2 日目) ボランティア作業・ミーティング
(3 日目) ボランティア作業・ミーティング
(4 日目) ボランティア作業 → 大島フェリー → 中央大学解散
※移動手段は、大学から高速バスを利用

* 参加者の声

法・3 年・男子学生

わずかな期間しか滞在しませんでしたでしたが、今回、私が訪れた気仙沼大島は、非常に自然が綺麗で、好きになりました。そんな気仙沼大島に、私たちが活動で植えた椿の木は、どんな花を咲かせるのか、椿園はどんな姿になるのか、非常に楽しみです。

経済・3 年・男子学生

住宅の基礎部分だけがまだに残っている理由や現地民同士の軋轢、被災した方の生の話等、今回ボランティア活動をしなければ知れなかったあれやこれやを知れたことは大きな収穫だったと

思います。自分のこれまでの被災地像を一新できたことは自分の後学のためにも大きなプラスだったと思います。

商・3年・女子学生

私たちが次回の参加者にこの実体験の反省や、活動中に工夫したアイデアなどを伝えることによってより効率の良い作業方法を次回参加者に伝えることが出来ると思います。もっと多くの学生にボランティア募集の存在を知ってもらうことによってより多くの人の手と知恵を現地に届けたいと思います。

*** 活動写真(樺の植樹作業の様子)**

